

BCP 策定支援

災害時の全社的な初動・復旧対応イメージやサプライチェーンの被災状況を反映した復旧対応イメージが明確につかめる実効性のある BCP 策定のお手伝いをいたします。

サービスの特徴

1. 拠点間および部門間での相互連携を前提とした BCP を策定します。
2. 全社的に整合性のとれた初動・復旧対応イメージが各拠点および各部門で共有できる BCP を策定します。
3. 各部門ごとの復旧行動を全社的な観点から最適化します。

BCP 策定までの ステップ

1	推進チーム教育	推進チームに対する概要教育を実施します。
2	基本方針策定	BCP を策定するうえでの基本方針を決定します。
3	初動対応マニュアル策定	初動対応のための役割や行動方針、および、手順を策定します。
4	対策本部マニュアル策定	対策本部の役割や行動方針、および、手順を策定します。
5	経営資源分析実施	業務活動を継続するために必要な経営資源を特定します。
6	リスク分析実施	経営資源に対するリスク分析を実施します。
7	リスク対応策検討	リスク分析の結果を踏まえて対応策を決定します。
8	被災シナリオ決定	災害に対する被災シナリオを設定します。
9	目標復旧指標特定	事業と事業を構成する業務の復旧指標を特定します。
10	事業継続戦略策定	事業を継続、復旧するための戦略を策定します。
11	業務復旧方法検討	業務活動の復旧手順を策定します。
12	BCP 文書の策定	BCP 文書を策定します。
13	演習実施	初動対応や復旧方法の実効性を検証します。
14	BCP 文書の見直し	BCP 文書の見直しを実施します。

BCP 策定時の留意点

1. 経営層、対象事業部門、システム管理部門の参画は必須です。
2. 最初はなるべく小さい範囲(部門、拠点、災害の種類など)で作成し、そこでの経験をもとに範囲を拡大していきます。
3. 実効性のある BCP を策定するために、行動手順はあまり詳細に決めずに、行動指針や簡単な行動手順レベルにとどめます。
4. BCP 策定後には、検証を必ず実施し、見直しを行います。

プロジェクト完了までの工数とスケジュール

1. 各ステップごとに1回の訪問と次のステップまでのメールでの問合せに対応します。
2. 各ステップごとの間隔は、1～2週間を想定しています。
3. お客様の規模(部門数や拠点数など)によって、同じステップを複数回実施する場合があります。